

# こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



オトメツバキ

2023年1月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社  
古河公方公園(古河総合公園)  
茨城県古河市鴻巣399-1  
電話0280-47-1129

## ■公方様の森の笹刈り 12/10、12/17

■12月10日、17日の二日間、市民協働による公方様の森の笹刈りを行いました。公方様の森の林床には、アスマネザサという笹の一種が繁茂しており、放っておくと、3メートルにも達し、森の生態系にも影響が出てしまいます。そこで、森に人が手を入れることで元の状態に引き戻し、生態系を維持することが必要となります。また、笹の背丈を低くすることで景観の維持や防犯上のメリットもあります。



作業風景



作業後の林床

林床がきれいになったので、来春になるとさまざまな野草が芽を出すことでしょう。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



## 里山の生態系からの恩恵

里山の生態系が豊かになればなるほどそこに住む生物同士のやり取りが多くなり、そこにいる生物が様々な恩恵を得ることになります。それは人間も同じで、里山が豊かになることで自然から受ける恩恵が多くなるのです。散歩やジョギングで公園を訪れたときに、豊かな生態系が来園者の心を癒し、また、子どもたちの遊び場となることで、心身ともに健康となる手助けになります。市民協働で地域のみなさんとこのような環境を作り出すことが、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも満たされた状態を作ることにつながるのではないのでしょうか。

## ■フランス人研究者御一行来園

■12月11日(日)、古河公方公園の設計に携わった、中村良夫東京工業大学名誉教授の案内で、フランス人研究者の国立ポルドー建築・景観高等教育大学教授であり地理学者のセルジュ=ブリフォー(Serge Briffaud)氏と、同准教授であり居住景観デザイナーのシリル=マルラン(Cyrille Marlin)氏が視察に訪れました。お二人は日本の里山についての考え方に特に興味を持っており、パークマスターの野中さんや、もりもりクラブの川田さん、パクパクサロンの白石さんも交えてお話を交えました。また、どろんこクラブの活動や市民協働の話など、フランス語で中村先生に通訳してもらいながら公園の活動についても説明していました。



セルジュ氏 針谷古河市長  
シリル氏 中村先生 野中氏



お二人は、日本独特の文化や風習にも興味があるようで、お盆に飾るホオズキを「鬼灯」とかく由来など、いろいろなことに耳を傾けていました。外国人の視点では、私たち日本人が当たり前のように過ごしてきた日常の風習も珍しく映るのかもしれませんが。国際的な視点から公園を観察することで、今まで私たちが気付かなかった新しい考え方のヒントを得ることができたように思います。

## ●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

基本的な感染症対策にご協力ください。(・手洗い、手指消毒、うがいの実施、換気の徹底。・3密を回避し、人との距離を確保。・場面(屋内、屋外)に応じて、適切にマスクを着脱。など)

●公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索